

## 3年ぶりにメーデー集会開かれる 工夫を凝らした分会アピールに和やかな雰囲気



東分会



みなと総分会



南分会



盲分会



横総分会



Y全分会

5月1日(日) 13時30分～14時30分、市従会館ホールにおいて、「2022年神障教組・浜高教メーデー」が開催されました。2020年から2年間、コロナ禍により中止が続いたメーデーですが、緊急事態宣言やまん延防止措置といった規制が実施されていないこと、ウイズコロナのもと様々な場で社会活動再開が模索される情勢を考慮し、3年ぶりの開催となりました。参加者は、神障教組22名、浜高教64名でした。

晴天であれば、大通公園での集会後、距離を短縮し、チラシを配布せず、スピーカー以外の発声を制限した形でパレードを行うといった、通常形態を縮小する形での実施を計画していましたが、残念ながら当日は雨天となり、パレードを中止し、市従会館ホールにおける集会のみ開催となりました。実施された集会の内容は、神障教組村田委員長による開会の挨拶に始まり、各分会2分程度のアピール、集会宣言の読み上げ、最後に浜高教木立委員長による閉会の挨拶で、全体として1時間程度のコンパクトなメーデー集会でした。

現在、感染者数の高止まり、新たな変異株発生、第7波到来の不安も指摘され、コロナはいまだ収束を見通せる状況にありません。そのような中でメーデー開催には、いろいろなご意見があると思います。しかし、3年ぶりにメーデーに参加して、全員が同じ場につどい実際に顔を合わせることに、リアルな力、オンラインにはない充足を感じた参加者も多かったのではないのでしょうか。久しぶりの分会アピールでの、みなさんの生き生きとした表情と、和気

あいなとした会場全体の雰囲気には、この2年間に感じることのなかつた安らぎがあったと思います。執行部としては、今後このような機会を大切にしていこうと思います。みなで協力し、組合活動を盛り上げていきましょう。

(井上大司)

あいなとした会場全体の雰囲気には、この2年間に感じることのなかつた安らぎがあったと思います。執行部としては、今後このような機会を大切にしていこうと思います。みなで協力し、組合活動を盛り上げていきましょう。



YSFH分会



神障教組



桜丘分会



金沢分会



ろう分会



Y別分会



Y全分会



Y定分会



## 5・3憲法大集会

5月3日の憲法記念日に、有明防災公園にて「憲法大集会」が開催されました。3年ぶりとなる、また日本国憲法公布から75回目となる記念すべき集会となりました。10時半の時点では、まだ人もまばらでコロナ禍なので参加者は少ないのだろうかと思配になりましたが、12時を過ぎるころには人、人の状況でした。主催者から参加者は15000人との報告もありました。集会後には、パレードもありました。3年ぶりの有明周辺はビルが増えたような様子でした。声を上げるシュプレヒコールはありませんでしたが、スピーカーから今日の集会の報告やスローガンを訴えながら1時間ほど歩きました。ウクライナの戦況の報告や、この機に乗じて憲法改悪をもくろんでいる人たちがいるとの報告などがありました。「今のままの『日本国憲法』が大切な



のだ」との気持ちを新たにしてみました。  
(大山澄子)

## 2022 メーデー集会宣言

メーデーが返ってきました。かつて経験したことのないコロナ禍の影響を受け、昨年、一昨年と開催を自粛せざるを得なかったメーデーが、実に、3年ぶりに実施されました。感染者数の高止まり、新たな変異株の発生と、コロナ禍はいまだ楽観を許さない状況にあります。しかし、「ウイズコロナ」を模索する中で、メーデーが実施できたことを、ともによこごみましょう。

この期間、社会は大きく変わりました。安倍、菅、岸田と首相交代がありました。民主主義は荒廃し、格差は拡大するばかりです。コロナ禍も相俟って、社会には息苦しさがまん延しています。日本はOECDで唯一賃金が上がらない国となりました。長期失業者は急増し、非正規雇用の多くを占める女性労働者の自殺率は増加しています。追い詰められた労働者には支援が必要です。賃金の引上げ、雇用の安定が急務です。格差と貧困の問題には早急な対策が必要です。学校に目を向けるならば、高校授業料無償化や給付奨学金制度の拡充等、経済的な支援を充実することにより、すべての生徒・児童が安心して学べる環境の整備を強く訴えます。

先の衆院選は自公による絶対安定多数確保となりました。この勢力を背景に、岸田内閣が軍拡・改憲に突き進む情勢は必至です。敵基地攻撃能力保有、「核共有」の声も聞かれます。憲法9条が示す平和主義は、悲惨な戦争体験に基づく我が国の根幹です。非核三原則は、唯一の被爆国として我が国が示す重要な方針です。なんとしても守らなければなりません。7月には参院選があります。その思いを強く訴えていきましょう。先の市長選においては、カジノ反対に団結した市民運動が実を結び、IR推進の候補を退け、山中市長誕生を成し遂げました。一人ひとりの市民の声が市政に届いたのです。ここ横浜から、私たちの声を国に届けましょう。

教育を取り巻く情勢も、楽観できる状況ではありません。煩雑な業務に苦しむ教職員に対し、学校における働き方改革はうまく機能していません。GIGAスクール構想やICTの活用は、単純に教職員の負担軽減に直結するわけではありません。教員免許更新制を廃止したとしても、別の研修を強化するのなら負担軽減にはなりません。部活動地域移行も、課題が不明確で安心できません。超勤隠しの「1年単位の變形労働時間制」は絶対に認められません。学校の働き方改革は、業務精選に基づき、業務量の軽減を行わない限り成し遂げられません。

中教審答申による「新時代に対応した高等学校教育の在り方について」は、学習指導要領の着実な実施とICTを活用し国・財界の描く「Society5.0」に向けた人材育成を示し、高等学校の「特色化・魅力化」、「普通科改革」、産業界と一体となる「専門科改革」などをすすめていくとしています。これらは教育への管理強化、教育の市場化につながる危険性が指摘されています。不当な圧力の介入により教育の在り方がゆがめられることのないよう注意が必要です。自由で民主的な教育環境を、一致団結して守りましょう。

教員不足は深刻で、教職員の未配置は大きな問題です。教員採用試験の倍率低下、教員志望の学生減少も見逃せません。「教職はブラック」が常識です。教職員の処遇や賃金の改善が必要です。教育予算を増やし、少人数学級の実施や教員定数の増員を行うなど、根本的な解決策による環境整備を強く求めます。

今、ウクライナでは戦争が行われています。都市は破壊され、多くの尊い命が失われています。とりわけ、何の罪もない子どもたちが犠牲になっていることに、私たちの胸は傷みます。教職員である私たちは、今ここで、「教え子を再び戦場に送らない」誓いを、胸に刻みなおしましょう。

私たち浜高教、神障教組は、神奈川県統一メーデーの復活を願いつつ、本日、独自メーデーに結集しました。労働者と市民の要求実現のために、全ての労働者と労働組合が大同団結し、コロナ禍をはじめあらゆる困難に打ち勝ち、前進していきましょう。

2022年5月1日

横浜市立高等学校教職員組合・神奈川県立障害児学校教職員組合



## 親愛なる無名の映画監督・河野優司の ドキュメンタリー映画『2887』 追悼上映会のお知らせ

3月20日、彼の「明大映研」時代の仲間ひとりからの訃報を聞き、一瞬キョトンとし、次の瞬間は別の感慨が頭をグルッとめぐった。

安倍長期政権2887日を正面から検証・告発する素人監督とは思えない出来映えに仕上がった。安倍政治以上の危険性を増している菅・岸田の後継政権。さてこれから全国上映を展開しようとしていた矢先の余りにも無残な運命。彼の悔しさを共有する仲間ひとりとしてしきりに思う。

良かれと思えばなりふり構わずひたすらまっしぐらに突進する彼の性格に、ご家族を含めどれだけ多くの人たちが悩まされたことだろう。しかし、それ位の器量がないと一本の映画の完成は無理なのではないかと、彼の仕事を傍らで見て、伝え聞いてそう思う。

そして今更の如く思うのだ。人はいなくなって初めて、その存在の貴重さを知るということを。彼の死は、そんな思いを抱かせている。

せめて遺作の上映により、心より追悼の意を表したいと切に願う。

2022年4月30日

「映画で社会を読む会」よびかけ人を代表して  
横浜市立高等学校教職員組合 元執行委員長 飯田 洋

### 河野優司監督の映画「2887--アベ政治を記憶する」 追悼上映会

と き：2022年6月11日(土) 13:00~16:00

と ころ：神奈川公会堂講堂 (JR東神奈川駅西口ロイオンの隣)

参加費：500円